



現在は姿を消してしまった  
蔵の建築様式を採用した構法です。

### 蔵構法とは

蔵構法とは、現在は姿を消してしまった蔵の建築様式を採用した構法です。在来の筋交構法では、柱間隔を910mmピッチもしくは1820mmピッチで配置しておりますが、蔵構法は昔の蔵と同様に柱間隔を455mm位のピッチで配置しております。柱については、本柱も間柱も105mm角の柱を採用しており、間柱で構造用合板・断熱材を受けるのではなく、本柱で受ける為、強度が増すことになり、外断熱に適した工法だと考えられます。



ローコスト住宅施工事例



ローコスト住宅平面図

また、柱と梁の接合部にはドリフトピン工法を採用し、さらに、1~2階床や外周部、2階桁上にも構造用合板で覆う形をとっております。これらの方法を用いる事で、かなりの強度が期待できると考えます。

### 仕様

蔵構法は省令準耐火構造を採用しており、屋根材は軽量スレート屋根を用いております。基礎はベタ基礎で、柱は先ほど説明しました通り105mm角で接合部に金物を使用しております。仕上げは石膏ボード下地のビニールクロス張りです。給湯器はエコキュート、またシステムキッチンにはIHと食洗機を備えております。UBは1.0坪以上、メーターモジュールの場合は1.2坪のものとし、浴室乾燥機付きとしております。それに加え、洗面化粧台やシャワートイレといった水廻り設備も完備しており、又カーテンや照明器具も含まれております。玄関タイルは300角のものを使用しております。断熱材については外断熱材で、遮熱アルミシートを壁に30mm、床に60mm、天井に100mmを敷いております。サッシは次世代省エネルギー基準に対応したLow-Eガラスを採用しております。また、地盤調査費や瑕疵担保保険登録費、外部の給排水工事費、設計費も料金の中に含まれております。別途にかかる金額は解体・地盤改良工事費、外構工事費、水道・電力申請料のみです。



M邸



E邸

